



主な内容

- P1~6 第46回金ヶ崎町社会福祉大会
- P7 第74回岩手県社会福祉大会
- P8 トピックス1
- P9 トピックス2,3
- P10 歳末たすけあい運動
赤い羽根事業募集
- P11 事業所紹介
- P12 寄付の報告
学童入所申込み説明会
会長の想い

2年ぶり

社会福祉大会開催



10月28日(木)中央生涯教育センター大ホールを会場に、第46回金ヶ崎町社会福祉大会を開催し、受賞者、来賓のみなさま約50名にご参加いただきました。

「ともに語り ともに支え合い 生きがいをもって 安心して暮らせる地域社会の実現」をテーマとした式典では、社会福祉活動に長年ご尽力いただいた個人・団体、福祉作文で入賞された小中学生を表彰いたしました。

受賞者を代表し、社会福祉法人友愛会法人事務局総務室長の高橋徳行様から「なお一層の努力と研さんに努め、町民が住み慣れたこの地で安心して暮らせるよう支援の提供を続けていきたい」と力強い挨拶をいただき、地域福祉の更なる充実に向けて意識を高めました。



◀福祉作文受賞者代表



◀受賞者代表挨拶

第46回金ヶ崎町社会福祉大会開催

* 金ヶ崎町社会福祉大会長表彰 *

● 社会福祉事業功労



ちだけんいち 千田健一様

金ヶ崎町身体障害者福祉協会
地区推進委員



▲来賓 高橋由一町長



伊藤雅章町議会議長



ごとうみか 五嶋美佳様

特別養護老人ホーム友愛園
副主任調理員



たかはし 高橋イツ子様

介護予防施設西光荘
介護職員



ちだせつこ 千田節子様

特別養護老人ホーム友愛園
介護員



きくちせいじゅ 菊地成壽様

金ヶ崎町社会福祉協議会
理事



たかはし のりゆき 高橋徳行様

社会福祉法人友愛会
法人事務局総務室室長



ぐんじ あきら 郡司彰様

金ヶ崎町社会福祉協議会
総務企画・地域福祉課長



あべ さちこ 阿部咲智子様

交流ステーション友愛園
管理者



こんの さゆり 紺野小百合様

金ヶ崎町社会福祉協議会
障がい福祉課課長補佐



おいかわりか 及川里香様

たんぼぼ保育園
保育士



やえがし さとし 八重柏知史様

金ヶ崎町社会福祉協議会
介護福祉課係長



おばら ゆり 小原友里様

たんぼぼ保育園
保育士



たかはし かずこ 高橋和子様

介護予防施設西光荘
介護補助員



● ボランティア功労



さいとう きみこ 様
見守りボランティア



いとう かずまさ 様
見守りボランティア



● 褒賞 (在宅介護)



うえまつ みさこ 様
在宅介護者

● 感謝状

みどりの郷 (株) 様
はっぴいふれいす寄付



みや たてこ 様
在宅介護者

えんどう ただお 様
ワークステーションかねがさき指定寄付



あべ よしこ 様
在宅介護者



さきおう かい 様
福祉基金寄付



くわしま きよみ 様
在宅介護者



かねがさき
金ヶ崎ライオンズクラブ 様
はっぴいふれいす寄付



ひがしにほん
カリツー東日本(株) 様
はっぴいふれいす寄付



かねがさきちょうしょうこうかいじょせいぶ
金ヶ崎町商工会女性部 様
はっぴいふれいす寄付

* 福祉作文入賞者表彰 *

● 小学校低学年の部



* 最優秀賞

大切なみんなのいのち

坂井和心さん (西小学校 2年)



* 優秀賞

ともだちとがんばりあう学校生かつ

工藤陽香里さん (三ヶ尻小学校 2年)

● 小学校中学年の部



* 最優秀賞

今のわたしたちにできることを

後藤瑠香さん (金ヶ崎小学校 4年)



* 優秀賞

ボランティアスクールで学んだこと

高橋花奈さん (永岡小学校 4年)



* 審査員特別賞

キャップハンディ体けんを通して

照井に子さん (第一小学校 4年)

● 小学校高学年の部



* 優秀賞

住みよい町にしたい

松本泰知さん (三ヶ尻小学校 5年)

● 中学校の部



* 最優秀賞

福祉体験で学んだこと

小関翔太さん (金ヶ崎中学校 1年)



* 優秀賞

福祉活動から学んだこと

阿部琉人さん (金ヶ崎中学校 1年)

福祉作文最優秀作品

小学校低学年の部

大切なみんなのいのち

金ケ崎町立西小学校2年 坂井和心

どうとくの時間にいのちの大切さについてべんきょうをしました。わたしが生まれる時、お母さんもわたしもしぬかもしれないという話を聞いたことがありました。だから、家にかえってすぐ、お母さんに「わたしが生まれた時のこと教えてちょうだい。」と言いました。すると、アルバムをたくさん出してきて色いろなことを教えてくれました。

わたしは、よていよりも早く生まれたのでとても小さかったそうです。しかも、はいにあながあいていて、ほいくきに一か月くらい入っていたそうです。しゃしんを見たら、体のあちこちに、くだがとおされていました。お父さんは、わたしが早く元気になるように、お母さんのおっぱいを毎日とどけたそうです。こなミルクは、のまないけどお母さんのおっぱいは、ごくごくのんでぐっすりねたそうです。わたしは、お母さんの子どもだから、お母さんのおっぱいのあじが分かったのかもしれないなと思いました。おっぱいをしぼるのも、とどけるのもたいへんだったと思います。「ありがとう。」と思いました。

わたしがたいいんしたら、家ぞくみんながとてもよろこんだそうです。一ばんよろこんだのは、ひいおばあさんだったそうです。いつもわたしのそばにいて、かわいがってくれました。お父さんが、わたしがひいおばあさんの足のこうにのって、ばんざいをして手をにぎっているしゃしんを見せてくれました。「こうやってパパのところまで歩くれんしゅうをしたんだよ。」と、教えてくれました。お兄ちゃんはいそがしいけど、たくさんあそんでくれます。わたしのいのちは、たくさんの人にだいじにされてきたんだなあと思いました。今わたしは、学びゅうで一ばん元気です。だから、こんどは家ぞくのために元気をつきたいです。家ぞくだけでなく、小さいいのちから大きいいのちまで、ぜんぶ大切にしたいです。

小学校中学年の部

今のわたしたちにできること

金ケ崎町立金ケ崎小学校4年 後藤瑠香

わたしは、総合的な学習の時間で白杖体験と車いす介助体験をしました。社会福祉協議会の方々に車いすの乗り方やサポートの仕方、白杖の使い方などたくさんのことを教えていただきました。

わたしが心にのこっているのは、白杖体験です。白杖体験では、アイマスクをつけて、白杖をふりながら、学校のろう下や階段を歩きました。アイマスクをつけると、今まで見ていたものが見えなくなり、どこに何があるのかがわからなくなりました。わたしが、こわくて前に進めないでいると、サポートしてくれる友達がやさしく声をかけてくれました。階段がのこり何段あるのかを教えてくれたり、どこを曲がればよいかを分かりやすく伝えてくれたりしました。友達のサポートのおかげでわたしは、勇気を出して最後まで歩くことができました。目の不自由な方は、わたしが友達に助けてもらいながら行ったことを、いつも自分一人の力で行っていることを知り、すごいと感じました。

わたしは、白杖体験を終えて、目や身体の不自由な方のための工夫が、白杖や車いすがいいにもあるのではないかと思いました。そこで、身の周りにある工夫について調べました。調べてみると、初めて知ったこと、おどろいたことがありました。

一つ目は、点字ブロックです。これは、目の不自由な方が歩きやすいように作られたものです。ブロックには種類があり、細長い丸が四こあるものは、「進め」、丸が二十五こあるものは、「止まれ」を意味していて、目の不自由な方は、この丸をたよりに道路を歩いているそうです。わたしは、いつも見ていたこの黄色のブロックに意味があったことにおどろきました。

二つ目は、エレベーターのボタンの位置です。エレベーターのボタンは、車いすを使っている方でもしやすい高さにつけられているだけでなく、目の不自由な方でもおすことができるように、点字がつけられているそうです。わたしは、この工夫は目や身体が不自由な方だけでなく、小さい子どもやおとしよりもやさしい工夫だと思いました。

白杖体験や車いす介助体験を行う前は、目や身体の不自由な方の気持ちを知りませんでした。この体験をきっかけに身の周りにある工夫についても知ることができました。そして、こうした工夫は、どんな人にとっても生活がしやすいようにできているということにも気付くことができました。今のわたしには、点字ブロックを作ったり、エレベーターのボタンを作ったりはできません。けれど、おじいちゃんやおばあちゃんのお手伝いをしたり、こまっている人がいたら声をかけたりすることは今のわたしにもできることだと考えました。自分にできることをたくさん見付けて、進んで行動したいです。そして、大きくなったら、学んだことを多くの人に伝え、みんなが気持ちよく生活できるようにしたいです。

中学校の部

福祉体験で学んだこと

金ヶ崎町立金ヶ崎中学校1年 小 関 翔 太

僕は、小学生の頃、高齢者体験や高齢者施設の見学に行き多くのことを学びました。

そして僕の祖父が身体障害者施設の仕事をしていたり何回か仕事場に連れて行ってもらったことがあったからです。

僕は、将来福祉関係の仕事をしてみたいと思っています。そのきっかけが、祖父が福祉の仕事をしているのを見て自分も祖父のように人を手助けする仕事をしたいと思ったからです。

小学校の頃の高齢者体験では両手両足に重りをつけて、目には視界が見えにくくするようにゴーグルをつけて歩きました。予想以上に体が重く、前もよく見えないので手助けしてもらわないと歩けないことがわかりました。この体験のおかげで、高齢者の方々がどれだけ大変かを知ることができました。

高齢者施設に行った時は、高齢者の方々と一緒に七夕作りをしたり、風船遊びをしました。この交流で、おじいさんおばあさんの楽しそうな笑顔を見て僕もうれしくなりました。

「また遊びに来てね。」と言われて、うれしかった反面、さみしい気持ちにもなりました。

僕の祖父は身体障害者施設の先生をしていました。初めて施設の入所者の人達を見た時は正直、怖かったです。理由は話し方が幼く、体つきが変わって見えただからです。そんな身体障害者の人たちと祖父は普通に話しておどろきました。でも、高齢者体験や高齢者施設に行き、最初の頃の考えと少しずつ変わっていき身体障害者だからといって、特別扱いをせずに接することが大切だと思いました。

今僕はケガをしていて整骨院に通っています。そこのリハビリの先生が、僕の体の事をよく考えて色々アドバイスや指導をしてくれます。その先生の姿を見て僕も先生のように人の心に寄りそえる人になりたいと思うようになりました。

今、金ヶ崎では子供の病院代が無料で僕が病院に行くたびに親は助かると言います。子供だけでなく、お年寄りも無料にしてあげれば良いと思います。

どんどん高齢化が進んでいて一人暮らしのお年寄りが増えているので、これから地域の人達との交流を大切にしていきたいと思います。一人一人が思いやりを持ち生活していくことがこれから大切だと思いました。

第74回岩手県社会福祉大会

11月2日(火)岩手県民会館を会場に、第74回岩手県社会福祉大会が開催されました。

当町からは、次の方々が受賞されました。

●岩手県知事表彰

*施設長又は従事者

【多年にわたり社会福祉施設の役職員として社会福祉事業の推進に貢献し、その功績が顕著な者】



すず き せい こ
鈴木清子様

金ケ崎町社会福祉協議会
放課後等デイサービスクレヨン管理者



すが わら ま すみ
菅原真澄様

金ケ崎町社会福祉協議会
金ケ崎学童保育所係長兼リーダー

●岩手県社会福祉大会長表彰

*社会福祉事業功労者

【多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に功績が顕著な者】



い とう つとむ
伊藤勉様

友愛会特別養護老人ホーム友愛園園長

*永年勤続功労者

【多年にわたり、社会福祉事業に従事した者】



さ とう いずみ
佐藤泉様

愛護会たんぽぽ保育園副園長



たか はし み ほ
高橋美穂様

友愛会法人事務局総務室係長・
経営企画室係長



お の まさ え
小野政恵様

友愛園交流ステーション友愛園
看護職員



▲受賞者代表挨拶 (鈴木清子様)

●岩手県民生委員児童委員協議会長表彰

*永年勤続民生委員・児童委員

【前年度11月30日において、在任期間が通算7年に達した者】

岩手県社会福祉大会長表彰名簿順



おい かわ ゆき お
故 及川之雄様



たか はし まさ と
高橋正人様



たか はし さとし
高橋敏様



お の であ えみ こ
小野寺恵美子様



たか はし た いち
高橋太市様



さ とう ち はる
佐藤千春様

1 100 歳記念長寿祝品贈呈式

トピックス



10月25日、当会デイサービスにてご家族と職員に祝福され、及川ヨネさんの長寿祝品贈呈式が行われました。

現在でも食欲旺盛で、1日3食欠かさず取り、しっかりと寝ることが長寿の秘訣とのこと。若いころから明るく働き者だというヨネさんは、デイサービスでも歌を披露して場を和ませてくれるとのこと。

ヨネさんは祝福に対し「どうもね」と気さくに頭を下げ、「みんなと会って面白かった」と笑顔を浮かべていました。



長寿祝品贈呈式終了後には、第二部とし当会主催の100歳長寿祝いを実施。当会会長の歌や、ダンシングチームによる踊りで、盛大に祝福させていただきました。

《生活福祉資金 教育支援資金貸付のご案内》

生活福祉資金の教育支援資金は、所得の少ない世帯に対し、学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学の入学・就学に必要な経費を貸付するものです。

合格発表前でも、入学願書・受験票の写しや納入期限が確認できる書類を添付して申込書の提出ができます。また、本制度よりも優先される公的制度があります。詳しい内容については、お気軽にご相談下さい。

(総務企画・地域福祉課 44-6060)

2 第20回・21回はっぴいふれいすかねがさき

トピックス



岩手県独自の緊急事態宣言により、7・8月と中止していましたが、第20回目(9月19日開催)は、121名が参加し、感染防止対策のため初のドライブスルー形式としました。大人気のトラットリアプリミさんのエビピラフ&ミックスフライ弁当と久しぶりの開催にたくさんの笑顔とありがとうをいただきました。



第21回目(10月23日開催)は、110名が参加し、永～TOKOSHIE～さんのバターチキンカレーとハロウィン縁日を開催しました。更に金ヶ崎町JA女性部様が手作りのかぼちゃマフィン子どもたちへ手渡してくださいました。とても好評で、「子どもたちも喜んで食べてくれました！」



次回開催は ★★★★★

- 11月27日(土) 11:45～12:30
 - 金ヶ崎町社会福祉協議会(福祉センター内)
 - 参加費 こども(18才以下) 無料
おとな 300円以上
 - 次回のメニューは
～煮心(NICO)さんの～
ピラフ&ナポリタンランチ
 - 申込みメ切 11月24日
- 問 44-6060

「手作りおやつはなんだかホッとします。」「やさしい甘さで親子でペロリと食べちゃいました。」「永さんのカレー濃厚でおいしかった！」などたくさんの感想をいただきました。

♡今後の継続には、皆様のご支援ご協力が必要です。どうぞよろしく願い致します。お気軽にお問い合わせください。 ☎44-6060 鈴木

3 スノーバスターズ出動

トピックス

雪かきのシーズンが到来するにあたり、町内雪かき困難世帯の味方「金ヶ崎町スノーバスターズ」が活動を開始いたします。

スノーバスターズは個人や団体のボランティアに協力をいただきながら、高齢者世帯や身体障がい者世帯の除雪支援を行います。



〈対象世帯〉 除雪が困難な町内の高齢者世帯や身体障がい者世帯

〈活動内容〉 生活道路の確保
声掛け等の見守り活動

〈活動日〉 12月19日、1月9日、1月23日
2月6日、2月20日、3月6日

除雪ボランティア大募集

ボランティアで
いい汗かきませんか?!
若者大歓迎!!



令和4年度福祉のまちづくり支援事業

～ 助成事業を募集します ～

岩手県共同募金会では県内のみなさまからいただいた募金を財源とし、地域で身近な福祉課題の解決に取り組んでいる団体に対して必要となる備品の購入経費を助成します。

- 対象団体 地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体や、町内会・自治会等任意の住民グループ
- 申請期間 令和3年10月15日～12月15日
- 助成決定及び助成金の交付 助成の採否は令和4年3月末に決定し、令和4年4月上旬に各団体宛てに岩手県共同募金会から通知します。また、助成金の交付は原則前払いとし、団体からの申請を受けて指定金融機関口座に振り込まれます。

●令和2年度の実績

団体名：黒沢親交会
事業名：視聴覚器材整備事業▶
助成額：199,000円



団体名：下平沢ござらっしゃい
事業名：視聴覚器材整備事業▼
助成額：118,000円



団体名：千貫石自治会
老人クラブ
事業名：住民参加の交流活動の促進事業
助成額：195,000円

歳末たすけあい運動に ご協力をお願いします

金ケ崎町歳末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるように、みなさまからの募金を義援金としてお届けするたすけあいの事業です。

スローガン

つながり ささえあう みんなの地域づくり

期間

令和3年12月1日～12月31日

義援金の配分について

皆さまからお寄せいただいた募金は、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、母子・父子世帯、常時介護・生活介助を要する方がいる世帯、東日本大震災被災世帯等に12月20日頃から配分予定です。

なお、配分については、歳末たすけあい運動検討委員会を設置し、配分方法及び金額について検討し、金ケ崎町社会福祉協議会理事会で決定いたします。

【義援金配分式】 義援金は、民生委員児童委員協議会のみなさまにご協力いただき、各地区の対象世帯のみなさまへお届けさせていただきます。



学童保育所

こんな事を
しています



あいさつ

管理者 菅原真澄

学童保育所は、昭和46年に旧金ヶ崎小学校の空き教室からスタートしました。保育を必要とする保護者が年々増えていき、今では各小学校毎にあるのがあたりまえとなりました。子どもの数は減少傾向にあるようですが、働く保護者が増えていることもあり、利用する児童数は増加傾向にあります。

これからも、必要とされる場所として、保護者の皆さまが安心して働き、子供たちが楽しく生き生き過ごせるよう、日々のコミュニケーションを大切にしていきたいと思っております。

学童保育所は、保護者の就労等により、放課後の保育が必要な児童等が利用する施設です。現在、町内の1年生～6年生321人が学童保育所を利用しています。日課（宿題、読書、遊び、異学年との交流）により過ごします。保育中におやつを提供しております。

※土曜日は、町内一斉保育（金ヶ崎学童保育所）

早く宿題
終わらせようっ



今日の
おやつは？



みんな
遊ぶの楽しいね。

行事 誕生会や季節のお楽しみ会を行っています。

町内の小学校毎に6ヶ所で運営しています。

利用児童数 (11月1日現在)

♡金ヶ崎学童保育所	金ヶ崎小学校東側2階建て	148人
♡三ヶ尻学童保育所	三ヶ尻小学校敷地内	39人
♡北部学童保育所	第一小学校南側	50人
♡北部第2学童保育所	(上平沢公民館)	21人
♡永岡学童保育所	(永岡地区センター内)	44人
♡西学童保育所	(子育て支援センター内)	19人



寄付の報告

令和3年9月1日から10月31日までの受付分



○福祉基金

菅原 マリ子 さま 20,000 円
朝倉 淳 さま 30,000 円
及川 孝子 さま 50,000 円

○物品寄付

小沢 孝子 さま
介護用品、折り紙 500 枚、千代紙 200 枚 *社協

○はっぴいぶれいすへ

大松沢 靖一 さま 米 30kg

学童保育所入所申込 説明会のお知らせ

(入所対象 新1年生～新6年生)

主に来年度に初めて学童保育所の利用を予定している方を対象に、学童保育所入所説明会を開催いたします。

- 1. 日時** 令和3年11月30日(火)
午後6時から7時まで
(受付 午後5時半から)
- 2. 場所** 金ケ崎町中央生涯教育センター
大ホール
- 3. 対象者** (全町)
令和4年度に初めて学童保育所の利用を予定している児童の保護者等
(新1年生から6年生まで)

※ 現在学童保育所を利用中の児童の保護者等も出席可能です。

4. 内容

- (1) 学童保育所の概要について
- (2) 学童保育所入所申込手続について
- (3) 学童保育所利用料の減免制度について

5. その他

- (1) 希望する方には当日令和4年度用の学童保育所入所申込書を配布します。
- (2) 当日は、お子様連れの方のために、中央生涯教育センター内に託児所を設けますので、ご利用希望の方は事前に電話等で下記までご連絡ください。

金ケ崎町社会福祉協議会
総務企画・地域福祉課 学童保育所係
電話 0197-44-6060 (代)



徳と社協事業

金ケ崎町社会福祉協議会

会長 高橋 範夫

会長の
想い
Part 7

先日古い本を開いたところ「徳は弧ならず、必ず隣あり」という名言らしき記述が目に入った。浅学非才の私には理解できない。理解できないと直ちに調べたくなる性分。便利なインターネットで即座に調べてみた。分かりやすく言うと、人としてあたり前の行動をとっている人には、理解者、協力者が必ず現れる。ということらしい。ではもう少し深掘りして「徳」とはどんな意味が隠されているか探してみた。日本では仏教的あるいは儒教的な理解が一般的という。前者は善い行いは巡り巡って自分に返ってくる。後者は思いやり、正義、礼節などが備わっている人格者のことをいい、徳を慕って多くの人が集まってくる、と説明してある。宗教的な意味合いを度外視しても、日本人なら何れもよく理解できる意味合いである。

翻って当社協は団体組織ではあるものの、徳を積んでいるだろうか。特に、思いやりやサービスが、利用者には十分提供されているだろうか。コンプライアンスは十分に機能しているだろうか、今一度しっかり見直し、組織としての「徳」を積み重ね、利用者から更に信頼・信用される組織作りが、これから一層求められる姿ではないかと思っている。

日本は少子高齢化が言われて久しい。特に、団塊の世代が75歳になる2025年から高齢者が急激に増加し始め、2042年にはピークを迎え3人に1人が65歳以上になるという推計も出ている。現状の福祉サービスに満足せず、超高齢化社会であっても「徳」を認識しながら、金ケ崎町の福祉の拠点として、これからも利用者に親しまれる諸事業を誠実に進めてまいりたい。

社会福祉法人 金ケ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ケ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106

EX-ル: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syakyo.jp>



★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

